

鳴子ダムの緊急放流 ～18年ぶりに非常用放流バルブで放流～

- 鳴子ダムでは、鳴子発電所（東北電力）の取水可能水位EL232.00mを下回ることから、非常用放流バルブによる**緊急放流を8月21日11:00（予定）**に開始します。
- 引き続き上流ダム群（鳴子ダム、岩堂沢ダム）の連携により、一部の穂ばらみ期の遅れているかんがい用水及び下流の発電用水の確保、並びに江合川の生態系保全のため補給に努めます。

【主なポイント】

- 鳴子ダムでは、8月21日9時現在の貯水位EL232.35m 貯水率は7%です。
- 鳴子発電所の取水可能水位(EL232.00m)を下回ることから、最低水位(EL231.00m)から21m下に設置されている**非常用放流バルブから緊急的に放流**を行います。
- 非常用放流バルブによる**緊急放流は**、平成6年に実施以来**18年ぶり**です。
- **放流量は約6m³/s**で最低水位(EL231.00)となった時点で流入量＝放流量で対応します。(岩堂沢ダムは約4.5m³/s)
- 穂ばらみ期の遅れている**補給区域の一部(約2割の面積)**においてかんがい用水の確保に努めます。(穂ばらみ期**8月27日までの予定**)
- ダム下流の河川取水の**池月発電所**(東北電力(株))の補給にも努めます。

※詳細は別紙資料の通り

鳴子ダムホームページ<http://www.thr.mlit.go.jp/naruko/>にも掲載します。

※発表記者会 古川記者クラブ
石巻記者クラブ

<問い合わせ先>
国土交通省 東北地方整備局 鳴子ダム管理所
所 長 松川 正彦
専 門 職 浅野 隆郎
TEL 0229-82-2341 FAX 0229-83-3855

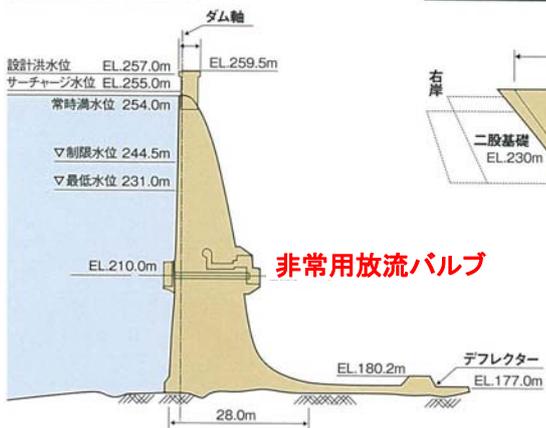
N A R U K O D A M

鳴子ダム

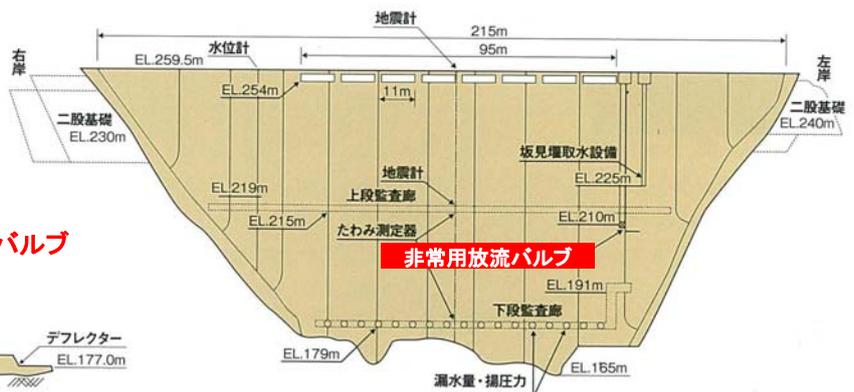
北上川水系江合川



鳴子ダム断面図



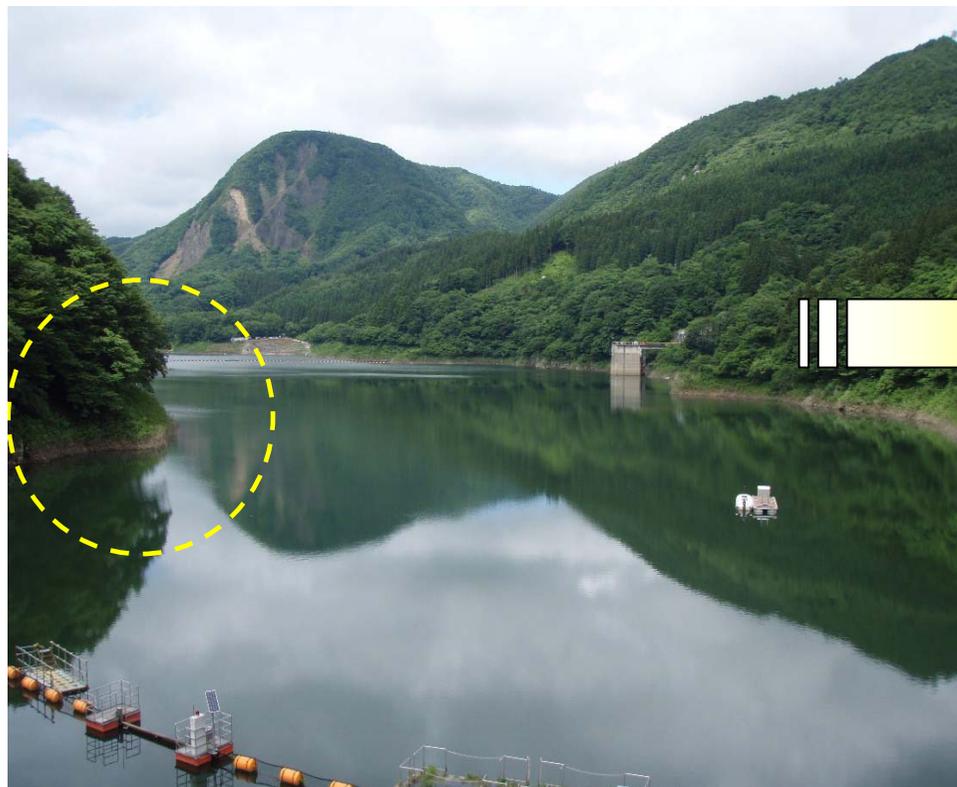
鳴子ダム正面図



鳴子ダムの現状

●7月中旬よりダム貯水量が低下、7月上旬と比べ貯水位が約12m、貯水容量が約14,200千m³減少した。

平成24年7月2日



貯水位 EL.244.08
貯水容量 15,378千m³
貯水率 96%

平成24年8月21日



貯水位 EL.232.35
貯水容量 1,115千m³
貯水率 7%

鳴子ダム年間貯水位曲線

有効貯水容量 35,000,000m³

